



PASS INT-60 Integrated Amplifier

『INT-60』は、Aクラス60Wモノラルパワーアンプ『XA60.8』の片チャンネルをベースにした、インテグレートッド・アンプです。出力段と電源部は『XA60.8』と同様になります。出力段のバイアス電流を下げることにより約30W出力迄のAクラス動作と、それ以上の出力のためにはABクラスで動作します（実際に測定上では、約90Wの最大出力が確認できます）。デザイン面では、『.8シリーズ パワーアンプ』のアイデンティティーのメーターをフロントパネル中央に配置し、音量レベルを表示するディスプレイと大口径のボリュームノブにより、パス・ラボ独特の雰囲気醸し出しています。加えて付属のメタルリモコンで、全ての操作が可能です。音質上は細部の描写に至るまで、様々なテストを経て慎重に微調整されており『.8シリーズ パワーアンプ』と共通と言えます。新たな試みとして、プリアンプ部のドライバー段に採用された高入力インピーダンスJFETによって6dBのゲインがバッファーされ、ボリューム回路へ送られます。その結果、アッテネーター歪みは0.001%以下を実現しています。前モデルの『INT-30A』は、ステレオパワーアンプ『XA30.5』に、シンプルに入力セクターとボリュームを付加した1段増幅の構成でしたが、『INT-60』は、プリアンプのゲインとパワーアンプ出力段との2段増幅の構成を取っています。『INT-60』のフロントステージ（入力段とドライバー段）は、基本的にはプリアンプ『XP-10』をベースしたバージョンと言えます。

この新しいインテグレートッド・アンプに搭載されるプリアンプ回路設計は、スレッシュヨルド時代から製品開発を行っているパス・ラボ立ち上げメンバーでもある、プリアンプ・デザイナーのウェイン・コルバーン氏（Wayne Colburn）が担当します。彼は現在のパス・ラボにおいてプリアンプの設計を一任されています。

いつでも測定値の良いアンプを作成することは可能です。しかし、耳に優しいアンプは簡単ではありません、そのため、パス・ラボ製品の最終テストは我々の耳で行われます。その重要な基準として、音楽性の再生に重きをおいています。この価値基準は、パス・ラボの長年にわたる成功の基礎となっています。音楽ソースから素晴らしい喜びを最大に引き出す可能性を我々はいつとも提供していきたいと願っています。



製品仕様

ゲイン:	29/35 dB
ボリュームコントロール:	(1dB ステップ) 63dB
リモコン操作:	可能
入力:	4 系統
出力:	2 系統
出力 (8 Ω):	60 W
出力 (4 Ω):	120 W
タイプ:	Class AB
周波数特性:	-6dB @ 80KHz
入力インピーダンス:	45K Ω
高調波歪率:	(1kHz, 定格出力時) 1%
ダンピングファクター:	150
スルーレート:	50V/uS
出力ノイズ (uV):	<250uV
入力 CMRR:	-60dB
DC オフセット:	0.05V
クラス A 最大出力:	30W
消費電力:	375W
動作温度:	53 °C
外形寸法:	483 W x 538 D x 193 H mm
重量:梱	42.2kg
包重量:	50.0kg
価格:	1,540,000 円(税込) / 1,400,000円(税抜)※シルバー 1,650,000 円(税込) / 1,500,000円(税抜)※ブラック



*ここに記載の内容は改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

 株式会社 **エレクトリクス**

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70
TEL.03-5419-1594 FAX.03-5419-1591
https://www.electori.co.jp/con_top.html